

○空き店舗を活用したコミュニティビジネス創出加速事業補助事業 〈ごはん屋ノンノ（美深町）〉

■開店の経過

「ごはん屋ノンノ」は、上川総合振興局管内の美深町にある弁当店。美深町出身の店主が「地元のおいしい食材を地元の人に提供し、その魅力に気付いてもらいたい。」との想いで平成30年2月に開業した。

開業にあたっては、道の補助金のほか、美深町の補助金も活用。

店舗の形態は、小さな町では店頭で来客を待つよりも配達する方がより多くの人に提供できると考え、配達に適した弁当店とした。

食事の提供以外に、高齢者が気軽に立ち寄れる場所にしたいとの思いから、店に高齢者が交流できるコミュニティ機能を持たせたスペースを確保している。



〔ごはん屋ノンノ〕

■空き店舗の活用

店舗は、数年前まで食料品店だった空店舗を活用しており、駅や公共機関、スポーツ施設などの公共施設も近く国道に面した、車の通行も多い集客が期待できる好立地の場所にある。

改装にあたり、内壁の塗装は店主自ら行っており、多くの人が集う場所になってほしいとの思いから明るい色を選択している。

また、自ら塗装することで改装費用を安く抑えることもできた。

■店舗の特徴・強み

栄養バランスと地元の食材にこだわった日替わり弁当と美深牛カレーを提供するほか、会合や法要等、用途に応じた注文弁当やオードブルにも対応している。

また、店内では地元で採れた季節の野菜や特産品の販売も行っており、好評を得ている。



〔日替わり弁当〕

店頭には椅子とテーブルを設置したコミュニティスペースを設けており、弁当の購入者がその場で飲食することができるほか、食事以外の時間でも自由に開放することで、高齢者を中心にサークルの会合や休憩所として利用されている。

加えて、栄養士の資格を持つ店主が、利用者に栄養指導を行うことで、地域住民の食生活の改善にも繋がっている。



〔コミュニティスペース〕

■出店後の苦勞

町内に配達をする弁当店がなかったこともあり、オープン直後は盛況であったものの、数日で客足が落ち着いてしまったことが課題であった。

当初、顧客の健康面を考慮し、薄めの味付けとしていたが、顧客からの要望を取り入れ、栄養バランスを重視しながら食材、メニューや味付けを工夫したことで、固定客が増えてきた。



〔店内の様子〕

■現在の営業状況

定期的に弁当を購入してくれる固定客は40人程度に増え、毎日配達している高齢者宅も数軒あり、栄養や健康の相談にも応じている。

店の知名度も高まりつつあり、町内でのイベントのほか、各種会合やサークル活動への配達、スポーツ大会、スポーツ合宿の弁当等、大口の注文も増えてきている。

なお、PR面も考え、定期的に購入がある企業、団体には前日にメニュー表を送付し、注文を受け付けている。

さらに、同店の弁当は、購入客同士が同店の

弁当を町内の公共施設等に持ち寄り交流するなど、地域住民の交流のきっかけにもなっている。

また、店内のコミュニティスペースは、地元の食材の調理方法の指導や、栄養相談など当初のねらい通り活発に活用されている。

令和2年3月には、道民の健康づくりを支援する飲食店等を登録する道の制度「ほっかいどうヘルスサポートレストラン」に登録された。

■今後の展開

美深牛や地元食材にこだわりつつも、弁当の価格を高齢者向けに低く設定していることから、利益率の低さが課題であり、現在の固定客を大事にしながら、新たな企業等へ営業活動を実施し、大口の配達先を増すことで、収益を安定させたいと考えている。

また、道の駅での取り扱い等、様々な販路を開拓し、知名度を高めることとしている。

今後もコミュニティ機能を大切にしながら、弁当や特産品の販売を通じて、美深町の食材や魅力を発信していきたい。



〔特産品の販売〕

取材先

■ごはん屋ノンノ

美深町字西1条北2丁目2番地4

TEL : 01656-2-1511

URL : <https://m.facebook.com/gohanyanonno/>